



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サトー

コード番号 6287 URL <http://www.sato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者 (氏名) 西田 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画本部長 (氏名) 櫛田 晃裕

TEL 03-6665-0639

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	19,578	1.5	904	0.3	798	3.3	467	55.5
23年3月期第1四半期	19,291	7.5	901	420.9	773	231.3	300	336.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 288百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △311百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	15.54	—
23年3月期第1四半期	9.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	65,773	34,662	52.6	1,148.47
23年3月期	66,134	34,929	52.7	1,156.88

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 34,580百万円 23年3月期 34,834百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,000	1.0	1,850	1.7	1,750	8.4	700	0.9	23.25
通期	82,000	4.6	4,800	13.6	4,600	24.4	2,400	377.0	79.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	32,001,169 株	23年3月期	32,001,169 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,890,966 株	23年3月期	1,890,699 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	30,110,329 株	23年3月期1Q	30,111,026 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

3月に発生した東日本大震災の影響により、国内では設備投資や生産活動の低下がみられましたが、部品供給網の復旧が想定よりも早く進むなど、経済活動は徐々に回復の兆しが見えてまいりました。

このような経営環境のもと、当社グループでは、各国、各市場別に営業施策を推進するとともに、引き続き、生産性の向上及び製造コストの低減、各種経費節減への取り組みを実施してまいりました。また、海外事業での売上拡大をはかるため、日本からの支援を強化してグローバル展開を加速するなど、事業拡大に向けた取り組みを強化しております。

これらの活動の結果、当第1四半期の連結経営成績は、売上高19,578百万円（前年同四半期比101.5%）、営業利益904百万円（同100.3%）、経常利益798円（同103.3%）、四半期純利益467百万円（同155.5%）と僅かながらでありますが増収増益となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### <日本>

東日本大震災の影響を受けながらも、市場別の各事業部が顧客ニーズを捉えた提案を行ってまいりました。当第1四半期においては、震災により物量の荷動きが鈍化するなかで、サプライ製品売上が前年並みとなりましたが、メカトロ製品売上については製造業を中心に電子プリンタの回復傾向が明らかなものとなりました。また、自動認識の新しい技術提案を絡めた商談が活発化するなど、新規用途に対する提案により、新たな市場成長を見込んでおります。これらの取り組みの結果、売上高14,871百万円（前年同四半期比101.7%）、営業利益841百万円（同103.0%）となりました。

#### <米州>

OEM商談が順調に拡大しており、大手小売業向けに値下げ管理システム商談や、食材の消費期限管理システム商談が進行中で今後の売上拡大を見込んでおります。また、アパレル向けラベル・タグ印字受託事業の売上増に向けた営業活動を強化しているほか、南米での販売チャネル拡大に向け新たな拠点展開を準備しております。これらの取り組みにより、売上高は1,513百万円（前年同四半期比93.9%[為替影響を除く前年同四半期比105.7%]）、営業利益15百万円（同29.8%）となりました。

#### <欧州>

ポーランドのラベル新工場の稼働により生産供給体制の整備を進めており、ドイツとスペイン子会社の黒字化を目指し収益基盤確立のための施策を講じております。売上面においては、欧州全域でマークダウン商談が活発化しているほか、代理店ネットワークの拡充とシステムディーラーとの協業を進め販路開拓の準備を行っております。これらの取り組みにより、下期以降黒字を見込める体質になる予定であります。当第1四半期は、売上高1,581百万円（前年同四半期比96.9%[為替影響を除く前年同四半期比97.3%]）、営業損失69百万円（前年同四半期は営業損失41百万円）となりました。

#### <アジア・オセアニア>

アジア地域については、アジア日系企業からの受注が一時停滞し伸びが鈍化したものの、各国で製造業、大手流通業、公共プロジェクトなどの需要増があり業績を牽引しました。中国では日系商談も活発化していることから、日本からの支援を強化しているほか、メイドインチャイナ需要に対応するため製品組立工場の稼働を開始しております。オセアニア地域については乳製品製造や食品加工業への売上が好調だったほか、ヘルスケア用途での大型商談が複数進行中です。これらの取り組みにより、売上高は1,611百万円（前年同四半期比112.6%[為替影響を除く前年同四半期比114.2%]）、営業利益92百万円（同138.5%）となりました。

製品別の状況は以下のとおりであります。

- a. メカトロ製品売上高 7,293百万円（前年同四半期比104.6%）
- b. サプライ製品売上高 12,285百万円（前年同四半期比 99.7%）

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、65,773百万円となり、前連結会計年度末と比較して360百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等によるものです。なお純資産は、株主資本で配当金の支払いを行ったこと、為替換算調整勘定が減少したことなどにより267百万円減少し、34,662百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、10,159百万円となり、前連結会計年度末と比較して653百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は698百万円（前年同四半期比236.2%）となりました。

主なプラス要因は税金等調整前四半期純利益805百万円、減価償却費465百万円及び、売上債権の減少額426百万円等であり、主なマイナス要因はたな卸資産の増加額226百万円、仕入債務の減少額304百万円及び、法人税等の支払額334百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は435百万円（前年同四半期比14.5%）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出182百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは853百万円の減少（前年同四半期は1,473百万円の増加）となりました。

主な要因は、配当金の支払額489百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績につきましては、平成23年4月27日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,680	10,012
受取手形及び売掛金	17,253	16,772
有価証券	184	174
商品及び製品	6,331	6,465
仕掛品	125	136
原材料及び貯蔵品	1,609	1,600
その他	3,768	4,318
貸倒引当金	△113	△118
流動資産合計	39,841	39,362
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,672	7,672
その他(純額)	10,236	10,112
有形固定資産合計	17,908	17,785
無形固定資産		
のれん	454	449
その他	1,390	1,320
無形固定資産合計	1,845	1,770
投資その他の資産	6,538	6,855
固定資産合計	26,293	26,411
資産合計	66,134	65,773
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,751	4,427
短期借入金	5,573	5,432
未払金	12,229	12,185
未払法人税等	205	172
引当金	258	232
その他	3,230	3,848
流動負債合計	26,247	26,297
固定負債		
長期借入金	1,377	1,207
退職給付引当金	1,696	1,680
その他	1,884	1,925
固定負債合計	4,957	4,814
負債合計	31,204	31,111

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,331	6,331
資本剰余金	5,799	5,799
利益剰余金	27,837	27,762
自己株式	△3,458	△3,459
株主資本合計	36,508	36,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△1,674	△1,853
その他の包括利益累計額合計	△1,674	△1,853
新株予約権	86	72
少数株主持分	9	9
純資産合計	34,929	34,662
負債純資産合計	66,134	65,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	19,291	19,578
売上原価	11,128	11,301
売上総利益	8,162	8,277
販売費及び一般管理費	7,260	7,373
営業利益	901	904
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	0	0
受取賃貸料	22	27
その他	29	25
営業外収益合計	58	63
営業外費用		
支払利息	27	28
為替差損	124	105
その他	35	35
営業外費用合計	187	169
経常利益	773	798
特別利益		
固定資産売却益	0	0
新株予約権戻入益	1	13
特別利益合計	2	13
特別損失		
固定資産除却損	1	—
固定資産売却損	0	0
事業再編損	9	—
事務所移転費用	72	—
投資有価証券評価損	—	4
その他	16	1
特別損失合計	99	5
税金等調整前四半期純利益	675	805
法人税、住民税及び事業税	303	357
法人税等調整額	70	△19
法人税等合計	374	337
少数株主損益調整前四半期純利益	301	468
少数株主利益	0	0
四半期純利益	300	467



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	301	468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△612	△179
その他の包括利益合計	△613	△179
四半期包括利益	△311	288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△311	288
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	675	805
減価償却費	504	465
のれん償却額	24	17
固定資産売却損益 (△は益)	0	0
固定資産除却損	1	—
引当金の増減額 (△は減少)	25	△26
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2	△4
受取利息及び受取配当金	△7	△10
支払利息	27	28
為替差損益 (△は益)	334	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△195	426
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△133	△226
仕入債務の増減額 (△は減少)	△93	△304
未払金の増減額 (△は減少)	404	125
その他	△644	△256
小計	923	1,051
利息及び配当金の受取額	6	10
利息の支払額	△26	△28
法人税等の支払額	△608	△334
営業活動によるキャッシュ・フロー	295	698
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△11
定期預金の払戻による収入	—	35
投資有価証券の取得による支出	—	△112
有形固定資産の取得による支出	△2,915	△182
有形固定資産の売却による収入	1	4
無形固定資産の取得による支出	△32	△59
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△59	—
その他	△2	△110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,009	△435
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△65	△136
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△169
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△481	△489
その他	21	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,473	△853
現金及び現金同等物に係る換算差額	△352	△63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,592	△653
現金及び現金同等物の期首残高	13,774	10,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,182	10,159

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	14,616	1,612	1,631	1,431	19,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,074	26	65	1,443	2,610
計	15,690	1,638	1,697	2,875	21,901
セグメント利益又は セグメント損失(△)	817	53	△41	66	895

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	895
セグメント間取引消去	△18
のれんの償却額	△22
棚卸資産の調整額	44
その他の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	901

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	14,871	1,513	1,581	1,611	19,578
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,135	15	64	1,460	2,676
計	16,007	1,529	1,646	3,071	22,255
セグメント利益又は セグメント損失（△）	841	15	△69	92	880

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	880
セグメント間取引消去	0
のれんの償却額	△3
棚卸資産の調整額	24
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	904

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。